

優良業者の許可延長

先月国会に提出された廃棄物処理法改正案の中に盛り込まれた優良事業者の許可更新期間延長を巡り、様々な懸念が出始めている。優良業者育成の措置として処理業者等ではおおむね歓迎ムード。しかし、今後詰められてくる延長の条件

に許可権者の裁量が増える場合、「自治体の権限が狭まる」となる「との指摘が出ている。仮に改善勧告（行政指導）などを受けていないことが条件となれば、新たな行政処分が加わったのと同じ効果を持つ可能性がある。また、自治体ごとに更新期間が異なれば複数の許可証の管理がさらに複雑になるといふ声もあり、こうした混乱が起きないようにルール作りを行うことが求められている。（関連記事4面）

廃棄物処理法改正で 許可証管理複雑化も

今回の廃棄物処理法改正案では、優良な産業廃棄物処理業者を育成するため、事業の実施に関する能力および実績が一定の要件を満たす処理業者については、現行一律5年の許可更新期間を延長する予定となっている。期間については今後決定されるが、7年程度が有力と見られている。延長の条件としては、環境省が現在実施している優良性評価制度の評価項目をベースに今後詰められていく。

環境省の許可期間を延長するといったことで規制緩和の意味合いが強いが、関係者の中では単純な規制緩和はなりたいという意見も少なくない。

優良業者の許可期間を延長するといったことで規制緩和の意味合いが強いが、関係者の中では単純な規制緩和はなりたいという意見も少なくない。

環境省の許可期間を延長するといったことで規制緩和の意味合いが強いが、関係者の中では単純な規制緩和はなりたいという意見も少なくない。

環境省の許可期間を延長するといったことで規制緩和の意味合いが強いが、関係者の中では単純な規制緩和はなりたいという意見も少なくない。

環境省の許可期間を延長するといったことで規制緩和の意味合いが強いが、関係者の中では単純な規制緩和はなりたいという意見も少なくない。

自治体の権限強化の懸念

環境省の許可期間を延長するといったことで規制緩和の意味合いが強いが、関係者の中では単純な規制緩和はなりたいという意見も少なくない。

環境省の許可期間を延長するといったことで規制緩和の意味合いが強いが、関係者の中では単純な規制緩和はなりたいという意見も少なくない。

環境省の許可期間を延長するといったことで規制緩和の意味合いが強いが、関係者の中では単純な規制緩和はなりたいという意見も少なくない。

環境省の許可期間を延長するといったことで規制緩和の意味合いが強いが、関係者の中では単純な規制緩和はなりたいという意見も少なくない。

環境省の許可期間を延長するといったことで規制緩和の意味合いが強いが、関係者の中では単純な規制緩和はなりたいという意見も少なくない。

環境省の許可期間を延長するといったことで規制緩和の意味合いが強いが、関係者の中では単純な規制緩和はなりたいという意見も少なくない。